

東三河及び三河山間地域の中小企業・小規模事業者対象

あいちの山里 ふるさと兼業事業+ONE（プラスワン）

実践企業の事例報告 & 事業説明会

参加無料
WEB開催

8月20日(水) 14:00～16:00

副業兼業等の助っ人人材を受け入れる
事業者を募集



※本事業は、愛知県交流居住センターの「あいちの山里 ふるさと兼業事業」（三河山間地域）と愛知県東三河総局（受託機関：（一社）地域問題研究所）の「大都市を対象とした東三河地域内関係人口、定住・移住の創出事業」の共同事業です。
※NPO 法人 G-net が、この事業を受託して運営しています。

「良いものを作っているけれど売れない、販路を拡大できないだろうか」

「次の一手を打つには人材が不足している」

「現代の生活スタイルの変化。これまでの事業・サービスを見直さなくては」・・・

そんな困りごとや悩みを、都会等で働いている優秀な外部人材と一緒に考え、解決していくプログラムが「ふるさと兼業」です。

● 多才なプロフェッショナル助っ人人材と共に

広報・マーケティングのプロやWebデザイナー、経理のプロ、商品企画のプロ、旅行代理店、大手企業の経営企画やマネージャー経験者など、多彩なノウハウや技術、経験を持った多様なプロフェッショナル人材が全国各地にはたくさんいます。しかも、「給与や待遇ではなく、地域に関わりたい、事業のビジョンに共感した」など熱量で参画を希望する人材も少なくありません。

そんな多才多様な人たちを、三河山間地域と東三河南部地域の事業者様につなぎ、一緒になって事業企画や事業展開を短期決戦で進めていく。

それを、専属コーディネーターが伴走支援していくプログラム。それが、「ふるさと兼業」です。

対象事業者

※定員を超える応募があった場合は、選考させていただきます。

三河山間地域（豊根村、東栄町、設楽町、新城市、豊田市の旧5町村（旧小原村、旧下山村、旧足助町、旧旭町、旧稲武町）、岡崎市の旧額田）の中小企業・小規模事業者 **2社**

東三河南部地域（豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市）の中小企業・小規模事業者 **1社**

私たちと共に事業推進に取り組んでみませんか？

まずは、オンラインの導入セミナーにお申し込みください。

【日時】 令和7年8月20日（水） 14:00~16:00

【概要】

- 実践企業による事例共有
- 副業・兼業導入セミナー
～事業課題や理想像から、どう募集内容を設計するか？～
- 事業募集説明会

【お申し込み方法】

①WEB または、②FAX・メールにてお申し込みください。

※説明会に参加できないが、受入について希望または相談したい事業者様も以下よりお申し込みを受付します。

①「簡易 WEB 申込フォーム」からの
申込方法
(二次元バーコードからも申込可)



URL ⇒ <https://forms.gle/hUy9TCvzMgSv3Sqd9>

② FAX・メールによる申込方法

- 件名は、「あいちの山里 ふるさと兼業事業の参加申込」としてください。
- 文面には、(1) 氏名、(2) 事業者（会社名やお店の名前）
(3) メールアドレス（zoom 参加 URL 送付のため）
(4) 申込区分①か②の選択（① 月 日の説明会に申し込む、②受入希望だが、説明会に参加できないため、個別相談に申し込む）をご明記ください。
- FAX 番号、メールアドレスは下記のとおりです。

★ご不明な点があれば、NPO 法人 G-net までお問合せ下さい。

【主催】愛知県交流居住センター、愛知県東三河総局（受託機関：（一社）地域問題研究所）

【委託先】NPO 法人 G-net （担当：南田、棚瀬）

住所：〒500-8844 岐阜県岐阜市吉野町 6-2 ブラザービル 2 階

電話：058-263-2162

FAX：058-263-2164

メール：info@furusatokengyo.jp

1. 対象エリアは？

豊根村、東栄町、設楽町、新城市、豊田市の旧5町村（旧小原村、旧下山村、旧足助町、旧旭町、旧稻武町）、岡崎市の旧額田町<三河山間地域>及び豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市<東三河南部地域>の中小企業・小規模事業者です。

2. 対象事業者数は？

3社（三河山間地域：2社、東三河南部地域：1社）を予定しています。※定員を超える応募があった場合は、選考させて頂く場合があります。

3. プログラムの手順は？

STEP	開催時期
①事業者向けの導入説明会を兼ねた web セミナー開催 導入に関心がある事業者向けに導入説明会を兼ねた web セミナーを開催します。	令和7年8月20日（水）14：00～16：00
②プロジェクト参加希望企業の募集	申し込み〆切 令和7年9月12日（金）17：00
③プロジェクト設計 経営課題のヒアリングからスタートし、挑戦価値が高く魅力的なプロジェクト作りをサポート。企業の成長を加速する設計となるようお手伝いします。 設計には、2週間～3週間程度かかります。	令和7年9月中下旬～10月中旬頃（予定）
④兼業・副業等のプロフェッショナル人材募集とマッチング支援 兼業・副業等のプロフェッショナル人材としてエントリーした方の管理や面接の調整などをサポートします。また採用決定のための相談などにも対応。他社事例などをベースに最適なマッチングをサポートします。	プロジェクト設計：10月中旬～随時 Web を通じた募集：設計後2週間程度掲載
⑤事業者様・プロフェッショナル人材・専属コーディネーターの三位一体によるプロジェクト実施 プロジェクト開始後も基本的な事業者側と参画側（プロフェッショナル人材）の相談対応を実施。マッチングして終わりではなく、その後の事業展開までを継続して専属コーディネーターがサポート（伴走支援）します。	令和7年12月上旬頃からスタート ※プロジェクト期間は3ヶ月程度（予定） ※プロジェクト毎に開始週を事前に決めて募集を行います。
⑥事例共有の実施 最終的には実施したプロジェクト事例を共有するイベントを実施（オンラインも含め検討）し、地域内への情報発信と事業拡大に向けた啓発を行います。	令和7年3月を予定

4. プログラム参加のメリット・特徴は？

1：多才なプロフェッショナル人材の出会い、そして、一緒に経営課題を解決

フルタイム採用ではなく、期間限定のすき間時間活用～週1・2日程度まで多様な働き方に特化することで、従来の採用方式では出会えなかったプロフェッショナル人材との出会いが可能になります。また、期間限定の兼業・副業活用によりコストを抑えて経営課題の解決につなげていくことが可能です。

2：給与待遇でなく、共感や熱意をベースとした意味報酬マッチング

ふるさと兼業にエントリーしてくるプロフェッショナル人材は、給与待遇を基準にエントリーするのではなく、事業への共感や愛着を起点にエントリーしてきます。結果として、外注とは違い、想いやビジョンを共有した仲間としてプロジェクトに参画してくれるパートナーになります。

3：多様な人材を活用して事業推進できるスキルを得ることが可能

これまで東海エリアを中心に、250 社超 500 名以上の多様な人材活用事例を伴走コーディネーターから見てきた成果の質を高めるノウハウや、最新の事業推進事例の紹介をします。

4：ふるさと兼業の専属コーディネーターとの2人3脚

外部人材活用の支援実績の豊富な専属コーディネーターが、課題の洗い出し・魅力発掘・求人作成のサポートを実施。人材とのマッチング機会、および人材の受入れ後も個別コンサルティング支援を行います。

5：専属コーディネーター等による伴走支援などは一切無料

web セミナー開催の開催から専属コーディネーターによるプロジェクト設計支援・マッチング支援・プロジェクト推進の伴走支援、さらには、成果報告会までの支援すべてが無料です。ただし、兼業・副業等のプロフェッショナルに対する給与や報酬費用は事業者様の負担となります。

5. これまで、どんなプロジェクト事例があるの？ <2020~24年度の5年間での実績>

【三河山間地域】

- ・14 社募集、全社マッチング
- ・全体で116名エントリー、29名マッチング

【東三河南部地域】

- ・3 社募集、全社マッチング
- ・全体で39名エントリー、4名マッチング

★2022年度までの9事例をまとめたリーフレットは、右の二次元コードや下記のURLからご覧いただけます。

https://aichi-kouryu.jp/pdf/news_pdf/1693827057.pdf



2023年度実施 | 愛知県新城市

車好きの金型会社社長と自動車デザイン出身デザイナーが贈る『まるで愛車のエンジンを手にしているかのような』iPhoneケース製作プロジェクト



株式会社佐津川モールド

会社概要	
業種 ●	製造業
従業員数 ●	25人
外部人材の受け入れ経験 ●	なし
業態 ●	BtoB

導入背景・課題感

- ・自社で、製造スケジュールをコントロールできない
金型は、自動車メーカーから依頼を受け製作します。そのため、メーカーの開発の進み具合によって、受注の時期が早まったり、遅くなったりと、とても不安定です。
- ・フットワーク軽く、仕事を増やすことが出来ない
1つの金型を納品するまでに半年程度かかります。1つの案件の負担がとても大きいため、A社の案件が遅れているから、B社の案件をとってることが難しいです。
- ・アイドルコストの問題
受注がメーカーから降りてこないからといって、従業員を休ませることもできません。

外部人材が取り組んだこと

- ・アルミの削り出しで出来たiPhoneケース「Moto Mold」を新商品開発
- ・マクアケで売り出す際の準備など、販売方法の情報収集
- ・miroやgoogleドライブ、teamsなどを使用し、会議やタスク管理のツールの準備

プロジェクト期間中の成果

- ・商品開発に関しては、試作品が完成した。
- ・商品販売に向け、販促活動の準備ができた。
- ・商品開発のプロセスのなかで、イベント出展をしたことで実際のユーザーの声を聞くことが出来た。